

平成18年6月13日
常任理事会決定

IPC世界水泳選手権大会選手、役員派遣方針

世界水泳選手権大会が、北京パラリンピックに向けての枠配分に大きな影響をもたらすことから、上位入賞をねらえる構成とし、同時期に行われるフェスピッククアラルンプール大会推薦選手は除外する。

日本身体障害者水泳連盟

- 1、水泳選手団は、礼儀と規律を遵守し、健康で元気ある日本の代表にふさわしく、他の参加国との友好と親善に寄与できる選手、役員をもって編成する。
- 2、選手の派遣は約20名とし、次の条件を満たす者の中から常任理事会で選考する。

2006年国際大会強化指定選手（以下「強化指定選手」という）のうちパラリンピックまたはフェスピック（ユース含む）出場経験者

強化指定選手のうち主にAランク、Bランクの者

主催者側の参加要件を満たしている者

- 3、役員は、技術委員会からの推薦があった者から約15名を選考する。
- 4、選考後に選手から辞退の申し出があった場合には、その範囲において7月JP大会等の成績優秀者の中から、選手強化部が推薦し、補充することが出来る。
- 5、その他
JPCには、選手、役員にかかる参加費用の軽減のため、助成を要望する。